

町への功労者をたたえ表彰する式典が、11月27日(火)パルナスで行われ、受賞者7人のうち6人が出席して執り行われました。

式典では、町長が「ご功績に深く感謝する。夢と希望が持てる町の未来を創造していくため、どうかご協力をお願いしたい」とあいさつ。功労者に対してお祝いが述べられました。

最後に受賞者を代表して、町スポーツ推進委員の田中礼一さんが「今日の栄誉を励みに、町と地域社会発展のため、力を尽くしたい」と謝辞を述べました。

#### ■受賞者(敬称略)

古川テツ(民生委員児童委員20年以上、宮川地区)／田中せつ子(民生委員児童委員20年

以上、向町下地区)／大川幸勝(納税貯蓄組合会計26年以上、大沢内地区)／工藤トミ子(納税貯蓄組合会計21年以上、上町地区)／田中礼一(スポーツ推進委員20年以上、向町下地区)／宮越恵美子(心配ごと相談員21年以上、尾別地区)／和田信之(納税貯蓄組合会計20年以上、入舟地区)



## 鍋味わって4半島交流

津鉄サポーターズクラブ  
「ストーブ列車点火祭」



11月25日(日)駅ナカにぎわい空間で、津軽鉄道サポーターズクラブ主催の「2012ストーブ列車点火祭」が行われ、町内外から約130人が参加しました。

同クラブの点火祭は、昨年に引き続いて津軽中里駅で開催。今年は2部構成になり、第1部では「半島を知る」と題して、講演や活動報告が行われました。講演は、NPO法人共存の森ネットワーク副理事長の澁澤寿一氏によるもので、「半島の価値と地域の自立」について参加者とともに考えました。また活動報告では、昨年の津軽・下北・渡島半島に新たに男鹿半島が加わって4半島の団体が発表。個性あふれる取り組みの様子が紹介されました。

後半の第2部は、参加者お待ちかねの大交流会。「半島を知る(汁)」と銘打たれた鍋コンテストをメインイベントにし、参加者は合計8鍋を食べ比べました。出品された鍋は、男鹿半島の「真澄汁」や、津軽からは「けの汁」「もずく汁」といった、地域の特色が表れたものばかり。人気投票の結果、75票を集めた「真澄汁」がトップで、「ストーブ大賞」を受賞しました。

### ふるさと 納税

ありがとうございました

我が母校中里小学校、中学校生徒諸君の頑張り、楽しみにしています。

横内正典様

〈東京都中野区〉

町では、ふるさと納税を随時お待ちしています。内容は町ホームページにも掲載しています。くわしくは、総務課までお問合せください。

☎ 役場総務課広報係 ☎ 162

